

【ネタ】 【18禁】 黄昏のVRMMO脱衣美少女マージャンゲーム
列伝

頭がポップコーン

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したもので
す。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を
超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

・以前私がアルカデイア様に書いたものの転載です。あちらのチラシの裏に同じも
のがございます。あちらのパスを忘れましたので、あちらにはこれらの事項が書き込め
なくなつておりますが、そういうことだとご理解いただきたく思います。

- ・ 18禁ですよ？　ええ、誰がなんと言おうとも18禁ですとも（笑）

目次

【ネタ】【18禁】黄昏のVRMMO脱衣
美少女マージャンゲーム列伝 | 1

【ネタ】【18禁】黄昏のVRMMO脱衣美少女マージャンゲーム列伝

20×年、世界に先がけ日本で初めて実用販売化されたフルダイブVRMMORPGゲーム【ヴァーチャルワールド】

その衝撃は光ファイバーを超える速度で世界中を駆けまわり、全人類をとりこにした。そしてその成功の後、VR先進国となつた日本では様々なジャンルのゲームがVR化。その中でも一際人々の、中でも男性達の関心を誘つたジャンルが存在する。

【脱衣マージャン】——古くはアーケードゲーム勃興期からゲームセンターの一角を占領しつづけた男が一度は通過するパッティングポイント。だが、今そこはVRという無限の可能性を得て、聖域、サンクチュアリへと変貌していた。

これはそんな【VR恋愛+脱衣マージャン】という仮想現実世界の中で起きた悲劇の
ような喜劇の話である。

「……今日こそ。今日こそ俺は！　ヒトナちゃんと結ばれてみせる！」

そう拳を握り締めて叫ぶのは、【VR恋愛+脱衣マージャン】ゲームで最高の人気を誇る超有名タイトル【恋牌！】をプレイ中のとある男。そんな彼を熱っぽい目で桃色の髪の美少女が見つめていた。

彼女こそ漢の夢を体現した存在。【恋牌！】内でもNO1の人気を誇る超絶美少女ヒロイン【ヒトナ】である。現実ではありえない桃色の髪に、大きな瞳。B90W55H85というスリーパースタイル、性格はちよつとドジなところのある野球部の熱血美人マネージャー風という、まさに漢の夢そのもの。

そんな彼女が男に向かつて叫ぶ。

「がんばって！ Aさん！ 今日こそ私の全部、貴方にあげたいの！」

なんと情熱的な言葉であろうか！ ちなみにこの【恋牌！】では、ユーナーがそれぞれ設定できるマイヒロイン以外に、【恋牌！】内に一人しか存在しない公式ヒロインというのも存在し、彼女たちは文字通り一人しか存在しない。

そんな彼女たちの価値観はいたつて単純。【麻雀で強い男の人が好き】、これである。

故にこの世界で彼女たちを手に入れるには、勝つしかないのだ！ 麻雀に！ そしてそんな気まぐれな女神である彼女たちは、その希少性ゆえに成績上位プレイヤーTOP100にしか、口すらも利いてくれないという厳しい選別が待っている。

故に男たちは日々ゲームにアクセスする為に課金（月辺り五千円）し、切磋琢磨し、麻

雀の腕を磨き続ける！　それは彼女たちに振り向いてもらう為！

そして磨き上げたその雀力で彼女を求めて戦うのだ！　麻雀で！

そう、この男こそ【恋牌！】全世界今期勝率NO.1にして、今、世界で一番幸せな男Aである。つまり全世界今期勝率NO.1＝ヒトナちゃんの彼氏なのだから、いかに彼が全世界の男たちから嫉妬の対象化がわかるものであろう。

だが、そんなAもヒトナちゃんと【ナニカ】をしたわけではない。今期NO.1になつてしたことといえば、『ヒトナにユーヤーネームで呼んでもらえる』、『ヒトナと手をつないで（もちろん恋人つなぎ）登下校ができる』、『手作り弁当が食べられる』まであり、それ以上に進んだわけではなかつた。

さて、この【恋牌！】であるが、全ての男子の夢を叶える為のゲームであるからして、つまり、そういうことである。

端的にいうと、システム的には最後までやれる。やれるのである！

だが、マイヒロインと違い、ユニークヒロインとやるためににはそれはそれは凄まじい壁を超える必要があつた。それがNO.1ユーザーのみに許される固定イベント【彼女の家に挨拶に行く】である。

ヒトナに限らずユニーキヒロインというのは非常に身持ちが固く、例え彼氏であつて手をつなぐまでが限界。キスもNG、おっぱいもダメ、Hなんてもつてのほかなのだ。

そんな彼女を全て手に入れるための唯一の方法、それこそ。

『うちのお父さんたちに麻雀で勝つたら、……最後まで、イイよ?』
である。

そう。そのために! 今から勇者たるAは、彼女のお宅にお邪魔して、本当の意味で
彼女の男になる(意味深)ため、お父さんたちに交際を認めてもらうべく彼女の自宅に
突入した!

「お邪魔します! Aと申します! 今日はヒトナさんとの……」

そういって勢いよく飛び込んで口上述べるAの声を静かな、そして圧倒的な冷たさを
もつた声が止める。

「いいよ、細かな自己紹介なんて。打てばわかるんだから」

そういうつて出迎えた男——それはまるで地獄のけつして解けない氷でできた人間の
形をした何かのよう。そして何より特徴的なのが、まだ若いというのに真っ白な髪と、
そしてあまりにもとがりきつたそのアゴと鼻であつた。刺さりそうだ。

その男の背中から発せられる冷気に震えながらも、お邪魔しますと、一声挨拶をして
彼女の家という完全アウエーに飛び込むA。

そんなAの耳に今度は今までの人生で一度も聞いた事のないような恐るべき笑い声
が聞こえた。

「カカカカカキキククケケケココココカキクケコ！ よおくきたなあ！ 小童め！ 貴様か！ 我が娘と交際したいという愚か者は！ ああ、御託はいらん！ 全ては卓上で語るがいい！」

そういうつて迎えたのは白髪の老人だつた。彼女のおじいさんだらうか？ しかし彼女のことを娘と呼んだことを考へるとどうも父親らしい。それがAの目の前にいるやたら威圧感のある白髪のオールバツクの老人だ。そしてこの老人も先ほどの白髪と同様、異様に、そして異常にアゴがとがつてゐる。こつちも刺さりそうだ。そして白髪と同じく同じような恐ろしいオーラを放つてゐるが、種類が違う。方向が、ベクトルが違う！ 先ほどの男が冷氣なら、この初老の男が放つのは熱氣。しかも、地獄の底の釜の熱気のような禍々しい熱が発せられてゐるのだ。そしてその背後にずらりと並ぶ白服にグラサンの集団。

(……怖え。怖すぎる)

内心小便ちびりそなぐらいビビリつてゐるA。ビビリすぎで声もでない。なんかザワザワとか変な音といふか声まで聞こえ出したし、何これ超怖い。事前情報で知つていたとはいえ、ここまでとは……。そう思いながら立ち尽くすAの背後から、最後の一人がすつとあらわれた。

三十歳前後だろうか？ 先ほどまでの二人ほど顔に特徴、つまりアゴはとがつていな

いし、髪も白くなくて普通の黒。だが、その黒いシャツの男が放つプレッシャーは、二人に勝るとも劣らぬもの。

「……あんたが今日の相手か。まあ、お手柔らかにな」

そういうつて静かに席に着き、タバコに火をつける黒いシャツの男。

「Aさん！」

そこに愛しい彼女が飛び込んできた。その愛らしさに再び闘志が燃え盛るA。その彼女が告げる。

「三人ともただいま！……えっと紹介するね。こっちから鷺頭お父さん、アカギお兄ちゃん、そして坊や哲おじさんだよ！それでね、お父さんたち。この人が今ヒトナガお付き合いしているAさんだよ！ よろしくね！」

その瞬間、絶対零度とマグマの奔流と宇宙空間のような真っ暗闇がAの脳神経を支配した。

そう思つたらいつの間にか席に着いていた、鷺頭お父さんと呼ばれた白髪の老人と、アカギお兄ちゃんと呼ばれた白髪の青年。そして黒いシャツの坊や哲おじさんと呼ばば

れた叔父。響くのはジャラジャラとかき混ぜられる牌の音とAの喉から掠れ響くヒューヒューという呼吸音のみ。

だがAは大きく息を吸い肚に力を入れた。覚悟などとうに決めた！ コンティニュー権のために給料一年分を突っ込んだあの時から！ 誰にバカと呼ばれようと、誰に阿呆とさげすまれよう！ 全ては彼女を得んがため！ Aは引かぬ！ 媚びぬ！ 顧みぬ！ そうして人生最大の勝負へと立ち向かう。

ゴングは鳴った。さあ、始めよう。——絶望と地獄の麻雀を。

イベント【彼女の家に挨拶に行く】

発動条件 「恋牌！」一月間世界ランギング1位獲得につき一度の挑戦が可能になる
 勝利条件 ゲーム終了時にプレイヤーがトップであれば、ヒロイン【鷺頭 ヒトナ】を
 （文字通り）自由にしてよい。

対戦相手 鶯頭様 アカギ 坊や哲

難度	S S S S S	対戦成績 (v s プレイヤー)	3 6 0 戰	3 6 0 勝
—	0 敗			

特記事項 対戦相手側がプレイヤーに追い込まれると、99%の確率で鷺頭麻雀へのゲーム方式変更というバグ報告あり

この時点でのヒトナの元彼の人数 360人

この時点でヒトナがユーザーに貢がせたお金（リアルマネー） 累計で11桁円
ユーザーの満足 プライスレス

その後——数多のユーザーからの訴えにより、史上初めてネットワーク内の存在である仮想人格にとある判決が下った。

主文

被告人 鷺津 ヒトナ

——不特定多数、かつ非常に数多くの純情な男子の心を弄んだ悪質なつつもたせによる売買春法違反にて、10年間の禁固刑に処する

この事件、【恋牌！ ヒトナちゃんラブトラップ事件】はたつた一人の人格による、歴史上類をみないほど広範囲かつ金額的に巨額の売春事件であり、なおかつ仮想人格に人格を認めた世界最初の事例でもあつたため後世、人権の観点からも、法律の観点からも非常に興味深い事件となつた。

なお一点付け加えるなら。

鷺津 ヒトナ は生涯処女であつた。